

# Panasonic®

## 取扱説明書

### SSDポータブルカーナビゲーション



Gorilla

7 V型ワイドモニター 品番 **CN-GP737VD**  
FM-VICS内蔵

**ご使用前に、「安全上のご注意」(P. A-2~A-11)を必ずお読みください。**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

※SSDとはSolid State Device (ソリッドステートデバイス)の略で、地図データの記録媒体として(大容量)フラッシュメモリーを使用したものです。

この商品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

当社サイトで「ユーザー登録」をしてください

PC <http://panasonic.jp/navi/>

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。



保証書別添付

# 本機の特長

## カメラユニットでドライブを再確認

ドライブ中の風景を動画や静止画で撮影することができます。撮影した動画や静止画は、地図と連動して確認することができます。

☎ L-1



## 最新の地図データを無料で更新

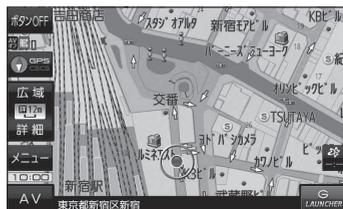
地図データを無料でダウンロードし、市販のSDメモリーカードを使って最新の地図データに更新するWeb地図更新を利用することができます。(発売から最大3年間)

☎ M-8



## 充実地図で頼れるナビ案内

情報充実の16GB地図を搭載し、詳細な地図情報をはじめ多彩な情報を収録しています。



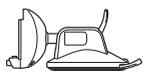
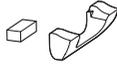
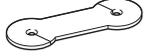
FM-VICS機能を搭載し、渋滞情報などを確認したり、VICS情報を考慮したルート探索を行うことができます。

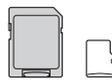
☎ G-1



# 内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 ナビゲーション 本体	1
②	 吸盤スタンド*1	1
③	 吸盤スタンド 保護用シート	1
④	 取付用シート*2	1
⑤	 コードクリップ	3
⑥	 クッション材 (小/大)	各1
⑦	 クリーナー ※吸盤スタンド用	1
⑧	 スタンド用 ストラップ (0.48 m)	1
⑨	 コードリール	1
⑩	 フック	1
⑪	 タッピングねじ (φ3×12 mm)	1
⑫	 シガーライターコード (12 V/24 V車対応) (1.8 m)	1
⑬	 カメラユニット	1
⑭	 カメラユニット 専用ケーブル (45 mm)	1

番号	品名	数量
⑮	 microSDHCメモリー カード 8GB*3 ※カメラユニット専用	1
⑯	 FM-VICS用 アンテナ	1
⑰	 アンテナコード (4 m)	1
⑱	 コードクランパー	3
⑲	 クリーナー ※VICSアンテナ用	1
⑳	 アーステープ	1

\*1 1印…吸盤スタンドの吸盤面には、吸盤保護用透明フィルムが貼られています。取り付けの際は吸盤保護用透明フィルムをはがしてご使用ください。

\*2 2印…取付用シート裏面には、ダッシュボードに貼り付けるための粘着テープが貼られています。

\*3 3印…microSDHCメモリーカードに付属の専用アダプターは、パソコンなどで使用することができます。ナビゲーション本体には挿入しないでください。

## ■その他添付品

品名	数量
取扱説明書(本書)	1
保証書	1

※寸法は、おおよその数値です。

※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

取り付けについては下記をご覧ください。

☞「カメラユニットを取り付ける」A-18

☞「車に吸盤スタンドを取り付ける」A-20

☞「車にVICSアンテナを取り付ける」A-28

別売品については下記をご覧ください。

☞「別売品のご案内」O-14



# もくじ

内容物の確認	3
本書の読みかた	4
もくじ	5

## はじめに A-1

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-12
ナビゲーションシステムについて	A-16
カメラユニットを取り付ける	A-18
車に吸盤スタンドを取り付ける	A-20
車にVICSアンテナを取り付ける	A-28
動作の種類と制限について	A-32
走行中の操作制限について	A-33
電源について	A-33
SDメモリーカード/ microSDHCメモリーカードについて	A-37

## ナビ機能の基本操作 B-1

各部のなまえとはたらき	B-2
地図画面の見かた	B-3
地図に表示される記号	B-5
地図の操作	B-6
モードの切り換えについて	B-8
ナビメニュー画面/設定メニューについて	B-9
自宅を登録する	B-13
地図から自宅/地点を登録する	B-14
ルート設定について	B-15
目的地/自宅までのルートを探索する	B-17
右画面に地図/情報を表示する	B-17
音声案内について	B-18
おでかけ旅ガイド	B-19
文字入力の見かた	B-20

## 目的地を探す C-1

目的地を設定する	C-2
----------	-----

## ガイドブックを利用する D-1

ガイドブックを利用する	D-2
ガイドブック地点を利用する	D-3

## ルートを探索する E-1

ルート案内時の注意点	E-2
------------	-----

1ルート探索/複数ルート探索をする	E-3
ルートを変更する	E-4
再探索をする	E-8
迂回探索をする	E-9
ルート案内をストップ/スタートする	E-9
現在のルートを表示する	E-10
現在のルートを保存する	E-11
保存したルート呼び出す/削除する	E-11
現在のルートを削除する	E-11
SDメモリーカードからルート探索をする	E-12

## 情報を見る・設定する F-1

登録地点の編集/見る	F-2
登録地点情報を全て書き出す/全て書き替える	F-6
登録地点情報を選んで書き出す/追加する	F-7
SDメモリーカードから地点を登録する	F-8
ecoドライブ情報について	F-10
GPS情報について	F-12
GPSログを使う	F-13
走行軌跡を使う	F-16
走行状態を確認する	F-16

## VICSを利用する G-1

VICS情報(FM多重)について	G-2
VICS情報(FM多重)の文字情報を見る	G-4
VICS情報(FM多重)の図形情報を見る	G-5
VICS情報(FM多重)の緊急情報番組を見る	G-5
FM多重放送局を選局する	G-6
FM多重放送局をプリセット登録する	G-7
FM多重放送局をプリセット呼び出しする	G-8
VICS表示の設定をする	G-8

## 「ここいこ」を利用する H-1

おでかけナビサポート「ここいこ」について	H-2
スマートフォンを本機に登録する	H-3
接続するスマートフォンを切り換える	H-5
「ここいこ」で検索した地点を本機に送信する	H-6

## 各種設定をする I-1

ランドマーク表示の設定をする	I-2
ガイドブック地点の設定をする	I-2
案内設定をする	I-3
音声案内の音量を調整する	I-9
地図の表示をカスタマイズする	I-10

地図ボタン表示の設定をする	I-14
ランチャーボタンの編集をする	I-15
平均速度を設定する	I-15
ルート探索条件の設定をする	I-16
BLUETOOTHの設定をする	I-18

## AV・テレビ・Gアプリ J-1

使用時・データ作成時について	J-2
AVモードの基本操作	J-6
AV同時動作について	J-8
テレビ(ワンセグ)について	J-10
テレビ(ワンセグ)の各種設定をする	J-19
音楽／動画／画像について	J-22
Gアプリについて	J-27

## Myストッカーを使う K-1

Myストッカーについて	K-2
Myストッカー／SDメモリーカードにコピーする	K-3
コピーしたファイルを削除する	K-4
使用領域を確認する	K-5
Myストッカーを初期化する	K-6

## カメラユニットを利用する L-1

microSDHCメモリーカードをフォーマットする	L-2
カメラユニットの設置確認をする	L-2
カメラユニットを設定する	L-3
自動撮影について	L-4
手動撮影する	L-4
カメラユニットで撮影した記録ファイルを再生する	L-5

## システム設定をする M-1

システム設定画面を表示する	M-2
画面の明るさを調整する	M-3
省電力の設定をする	M-4
キー操作音の設定をする	M-4
セキュリティコードについて	M-5
お買い上げ時の状態に戻す(初期化)	M-7
バージョン情報を見る	M-8
地図更新について	M-8
リャビューカメラ／ビデオ映像を表示する	M-9

## 困ったとき N-1

故障かな!?	N-2
こんなメッセージが出たときは	N-10

## その他 O-1

本機を廃棄するときのお願い	O-2
地図ソフトについて	O-4
市街地図(詳5 m／詳12 m／詳25 m／ 詳50 mスケール)の収録エリア	O-8
表示できる施設	O-12
別売品のご案内	O-14
さくいん	O-16
BLUETOOTHについて	O-21
VICSについて	O-22
商標などについて	O-24
仕様	O-26
保証とアフターサービス	O-28

## A

## はじめに

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-12
ナビゲーションシステムについて	A-16
現在地の測位について	A-16
準天頂衛星システム「みちびき」について	A-16
現在地を測位するまでの時間	A-16
現在地の測位ができない環境について	A-16
現在地(自車)マークのずれについて	A-17
クイックGPSについて	A-17
自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて	A-17
カメラユニットを取り付ける	A-18
カメラユニットの取り付けかた	A-18
カメラユニットの取り外しかた	A-19
microSDHCメモリーカード	
カメラユニットに挿入する／取り出す	A-19
車に吸盤スタンドを取り付ける	A-20
ナビゲーションの取り付け位置について	A-20
取り付け上のお願い	A-21
取り付けの前に	A-21
取り付け角度・寸法について	A-22
吸盤スタンドの取り付けかた	A-22
吸盤スタンドの取り外しかた	A-26
コードクリップの取り付け／取り外しかた	A-27

車にVICSアンテナを取り付ける	A-28
VICSアンテナの取り付け位置について	A-28
取り付け上のお願い	A-28
取り付けの前に	A-28
VICSアンテナの取り付けかた	A-29
動作の種類と制限について	A-32
動作の種類について	A-32
動作の種類による制限	A-32
走行中の操作制限について	A-33
走行中に制限される機能	A-33
電源について	A-33
主電源スイッチについて	A-33
シガーライターコード／ACアダプターで	
使用する	A-34
内蔵電池で使用する	A-35
本機の電源を切る	A-36
SDメモリーカード／	
microSDHCメモリーカードについて	A-37
使用できるSDメモリーカード／	
microSDHCメモリーカード	A-37
SDメモリーカードを挿入する／取り出す	A-38

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**危険**

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 内蔵電池に関するご注意



**危険**



本機は充電式電池を内蔵しています

- 廃棄時以外は、分解しない
- 他の機器で使用したり、充電をしない
- 火の中へ投入、加熱をしない
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因となります。

## 内蔵電池に関するご注意

### 危険

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した内蔵電池に適用されます。



本機に内蔵している電池は本機専用です

- 他の機器で使用したり、充電をしない
  - 火の中へ投入、加熱をしない
  - 水などの液体への投入をしない
  - クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
  - ⊕と⊖を金属などで接触させない
  - ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
  - 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
- 発熱・発火・破裂の原因となります。

- 取り出した電池は、必ずコネクターの金属端子部をテープなどで絶縁して、リサイクル協力店へお持ちください。

### 警告



電池の液が漏れたときは、以下の処置をする

万一、液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。  
皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水でよく洗い流したあと、  
すぐに医師にご相談ください。

## ACアダプター(別売)に関するご注意

### 危険



必ず、指定のACアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災や感電、故障、内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因となります。

## ACアダプター(別売)に関するご注意

### 警告



**電源プラグに付いたほこりや汚れを取り除き、  
根元まで確実に差し込む**

感電や発熱による火災の原因となります。

- ときどき乾いた布で拭き、ほこりや汚れを取り除いてください。
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、  
交流100V以外での使用はしない**

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



**ぬれた手で抜き差ししない**

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

### 注意



**ACアダプターの本体部分を持ってコンセントから抜く**

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



**通電中のACアダプターに長時間直接接触して使用しない**  
低温やけどの原因となることがあります。

**座布団やタオル等でくるんだり上に物を置いたりしない**  
ACアダプターが異常に発熱し、故障や火災の原因となります。

**著しく温度が高くなる場所\*に置かない**

故障や火災の原因となることがあります。

\*直射日光のあたるところ、アイロンや暖房器具の近くなど



## 警告



**シガーライターコード(12 V / 24 V車対応)は⊖アース車専用です**

⊕アース車には使用できません。

火災や故障の原因となります。

**VICS用アンテナ、車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は、保安基準に従って取り付ける**

視界不良による事故の原因となります。

**説明書に従って、正しく取り付けや配線をする**

火災や故障の原因となります。

作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。

**シガーライタープラグは確実に差し込む**

感電や発熱による火災などの原因となります。

**シガーライターソケットは、定期的に点検・清掃する**

ソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により発熱し、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回す**

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

**作業後は、車の電装品<sup>\*</sup>の動作確認をする**

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

<sup>\*</sup>ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

**車載用吸盤スタンドがぬれたり、水が入ったりしないように注意する**

ダッシュボードから落下し、交通事故やけがの原因となります。



**視界や運転を妨げる場所<sup>\*</sup>、**

**同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**

交通事故やけがの原因となります。

<sup>\*</sup>ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など



### エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。

車両メーカー・車をお買い上げの販売店に作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

### 取り付けに、車の保安部品<sup>\*</sup>を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

<sup>\*</sup>ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

### シガーライターソケットまたはアクセサリ用電源ソケットから複数の電源をとらない

複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や感電、故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

### ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



### 分解や改造をしない

(廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

### シガーライターコードをはさみやカッターなどで切ったり被覆をはがしたりしない

火災や感電、故障の原因となります。



### ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

## 注意



### 必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

### 車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は確実に取り付ける

走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。

- 設置面の汚れ・ワックスなどを拭き取り、スタンドを取付用シートの上に確実に取り付けてください。
- スタンドの落下を防ぐために付属のスタンド用ストラップをご使用ください。
- 車載時は、必ずナビゲーション本体をスタンドに固定してご使用ください。  
また、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

### 取付用シートをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、慎重にはがす

強力な粘着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷める可能性があります。



### 高温になる場所※に取り付けない

火災や故障の原因となります。

※ヒーターの熱風などが直接あたるところなど

### コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

### 振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

### 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

## 取り付けや配線をするとき

### 注意



取付用シートを貼り付ける場所の表面が柔らかい材質・本皮・木製パネル・布張りなどの場合は、貼り付けない  
表面仕上げを傷める場合があります。

**カメラユニットやナビゲーション本体のカメラユニット専用  
端子とパソコンなどの機器を接続しない**

パソコンなどの機器に接続した場合、故障の原因となります。

## ご使用になるとき

### 警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う  
交通事故の原因となります。

**必ず規定容量のヒューズを使用する  
また、交換は専門技術者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。  
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス  
ご相談窓口」に依頼してください。

**医療用電気機器などへの影響を確認する**

**また、病院や航空機内など、高精度な制御や微弱な信号を  
取り扱う電気機器\*の近くでは、電源を切る**

電気機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合が  
あります。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいる可能性があるため、電源を切ってください。
- 心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

\*心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など



## 警告



**自動車で使用する場合は、必ず付属のシガーライターコードをナビゲーション本体に接続し、付属の吸盤スタンドに装着して使用する**

ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけがの原因となります。



**本機を自動車および歩行時以外※には、使用しない**

ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけが、火災、故障の原因となります。

- 本機のルート案内は自動車専用のもので、歩行時には参考としてご使用ください。

※船舶・航空機・自転車・バイクなど

**運転中や歩行中に操作したり、画像や表示を注視しない**

交通事故やけがの原因となります。

車載時は、必ず安全な場所に停車してご使用ください。

歩行時は、必ず安全な場所に立ち止まってご使用ください。

**故障や異常な状態のまま使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

**カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**屋外で使用する場合には、雨水・海水などがかかる場所やほこりの多い場所で使用しない**

本機は防水・防塵構造ではありません。

火災や発煙・発火、感電、故障の原因となります。

**機器内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙・発火、感電、故障の原因となります。

飲み物などがかからないようにご注意ください。

 **警告**



**シガーライタープラグに水などをかけない**

ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

**通電中のナビゲーション本体に長時間直接接触して使用しない**

低温やけどの原因となることがあります。  
手に持って長時間使用しないでください。

**大きな音量で使用しない**

周囲の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

**運転中や歩行中、周囲の音が聞こえないと危険な場所<sup>※</sup>で  
ヘッドホンを使わない**

交通事故の原因となります。密閉型(周囲の音が聞こえにくくなるタイプ)は、使用しないでください。

※踏切や横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など

**ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が損なわれる原因となります。



**雷が鳴りだしたら、本機に触らない**

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

## ⚠ 注意



### ナビゲーション本体と車載用吸盤スタンドの温度を確認してから着脱や角度調整をする

高温環境での放置(直射日光などが長時間あたっていた場合)や連続使用した場合などは、スタンドなどが高温になり、やけどをするおそれがあります。

### ヘッドホン接続前に音量を下げる

音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因となることがあります。  
音量は少しずつ上げてご使用ください。

### 取り付け状態を定期的に点検する

走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。  
スタンドやスタンド用ストラップにゆるみがないか確認してください。



### 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない 落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない 故障や火災の原因となります。

### ワンセグ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない/ 人に向けてない

アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因となります。  
アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

## 異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(☎ 0-29)にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

# 使用上のお願い

## ●お買い上げ時や、長時間ご使用にならなかったときの内蔵電池の残量について

- お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていませんので、充電してからご使用ください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。  
【※「内蔵電池の充電について」】A-35
- お買い上げ時、内蔵電池が十分に充電されていない状態では、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されず、次回起動時に現在地(自転車)マークが東京駅周辺を表示する場合があります。(お買い上げ時はシガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続し、目安として1時間程度充電しながらご使用ください。)

## ●内蔵電池の使用について

- ルート探索／登録地点情報の書き出し、書き替え／Myストッカー／Gアプリなどの操作を行う場合は必ず内蔵電池を満充電にし、内蔵電池の残量に注意しながら操作してください。動作中に内蔵電池の残量がなくなると、大切なデータが壊れる場合があります。
- ルート案内はシガーライターコードまたはACアダプター(別売)を使用してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

## ●使用中に発生する熱について

- 長時間ご使用になると本機が熱くなりますが、異常ではありません。

## ●温度について

- 推奨動作温度(0℃～+50℃、ACアダプター(別売)使用時は0℃～+40℃)の範囲外の場所で使用すると、正常に動作しない場合や、本機の故障を防ぐために自動的に電源が切れる場合があります。この場合、主電源スイッチを切り、推奨動作温度の場所で再度主電源スイッチを入れてください。
- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

## ●車内で使用するときのお願い

- 安全のため、走行中は本機の機能・操作が一部制限されます。必ず安全な場所に停車してご使用ください。(テレビ(ワンセグ)・動画再生は、走行中には映像が表示されず、音声のみとなります。)
- 本機は車速感応タイプ走行規制で走行／停車判定を行うため、低速走行時、発進停止の繰り返しなどに正しく判定ができないときがあります。走行中でも操作や映像視聴ができてしまう場合がありますが、操作したり映像や表示を注視しないでください。また、停車中でも一部の操作ができなかったり、映像視聴できない場合があります。
- シガーライター電源で使用するときは、エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。(アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください。)

## ●使用場所について

- 本機の内部に熱がこもるため、ふとんやじゅうたん、カーペット、座布団など熱をにがしにくいものの上に置いて長時間使用しないでください。
- 本体の塗料がはがれるため、ウレタン系シートやゴム系シート、ビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

## ●カメラユニットの使用について

- 付属のカメラユニットのみでは使用できません。必ずカメラユニットにmicroSDHCメモリーカードを挿入し、ナビゲーション本体に取り付けてからご使用ください。
- 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ではありません。
- 自動撮影時は常に記録を繰り返しますが、全ての状況において撮影した映像を保証するものではありません。
- カメラユニットで撮影した映像は、事故などの証拠として効力を保証するものではありません。
- LED式信号機などを撮影すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 推奨動作温度(0℃～+50℃)の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、撮影を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露でカメラユニットのレンズがくもる場合があります。
- カメラユニットのレンズを手で触らないでください。
- 音声を録音することはできません。

## ●液晶ディスプレイについて

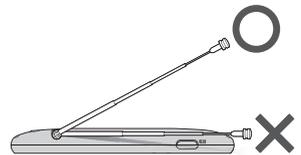
- 先端が固いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたいたり、強く押さえないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 液晶の保護シートを使用すると、正常に動作しないおそれがあります。
- 内部照明装置(バックライト)が暗くなる場合がありますが、本体の温度が下がると元に戻ります。
- 本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。(車用のサンシェードなどをご使用ください。)
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

## ●お手入れについて

- ナビゲーション本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)
- ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。(表面が侵されることがあります。)
- 硬いものでこすったり、たいたりしないでください。

## ●GPSアンテナ(本体の上面に内蔵)について

- 本体の上面にペンキなどを塗ったり、シールや紙などを貼らないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- 本体の上面にワンセグ用ロッドアンテナや、動作中の他の電気製品(テレビ、ラジオ、パソコンなど)を近づけないようにしてください。GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。



## ●磁気について

- 本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。誤動作を引き起こす可能性があります。
- 磁気カード(キャッシュカードなど)を本機に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。

## ●受信妨害について

- 本機は強い電波を送受信する機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、携帯電話は、なるべく本機から離してご使用ください。これらの機器の近くで本機を使用すると、下記のようなことが起こる場合があります。
  - ・本機の映像や音声が乱れる
  - ・現在地を正しく表示できない
  - ・テレビ(ワンセグ)が受信しづらくなる
  - ・本機の近くで使用している機器(上記など)が正常に動作しない
- 動作中のテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで、本機を使用しないでください。本機のテレビ(ワンセグ)やGPSの受信状態が悪くなったり、テレビ、ラジオなどの受信状態が悪くなる場合があります。

## ●ご使用にならないときは

- 極度な高温・低温になる場所に放置しないでください。夏季の閉め切った車内、長時間直射日光や暖房器具の熱が直接あたるところ、極端な低温になるところに放置すると、変形・変色・故障の原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源を切って常温の場所に保管してください。

## ●持ち運ぶとき／収納するときは

- 液晶ディスプレイ面を持たないでください。
- 付属のカメラユニットを取り外してください。
- ワンセグ用ロッドアンテナは収納し、接続している機器やコード類などを取り外してください。
- 持ち運びの際は、必ず電源を切ってください。[A] A-36  
音楽を聞きながら持ち運ぶときは、画面消しにしてください。[A] M-4
- 液晶ディスプレイ破損を防止するため、下記の点に気を付けてください。
  - ・スポンのポケットに入れたまま座らない
  - ・かばんの底など、無理な力が加わるところに入れない
  - ・ストラップなどのアクセサリーや鍵などの金属や硬いものがあたらないようにする

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。  
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。



## ワンセグ放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声がなくなることがあります。
- 固定して使用する家庭用と異なり、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。本機から離してご使用ください。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

## 著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- お客様が本機やビデオデッキなどで録画等したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本製品を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

## 免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、道路上での使用を前提に作られています。船舶や航空機の航行補助装置や登山用の地図など、本来の使いかたから逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機を観光やガイドなどの業務目的に使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、登録または記録した個人情報(登録地点の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
  - ・ 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
  - ・ 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

- 大切な情報(登録地点など)は、万が一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
- 説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

# ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことで、

## 現在地の測位について

GPS(Global Positioning System)はアメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21,000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。本機ではこのGPS衛星の電波を受信して現在地を測位します。

※GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。

このようなときは、現在地がずれる場合があります。

## 準天頂衛星システム「みちびき」について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。米国のGPS衛星に加え、日本の真上から電波を送る「みちびき」によって、受信の難しいビル街や山間部でも測位が可能になり、さらに測位の精度が向上します。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯に限られます。また、衛星側の都合により、精度が落ちたり・電波を利用できなくなることがあります。

## 現在地を測位するまでの時間

本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。

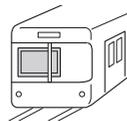
**必ず見晴らしの良い場所で電源を入れ、現在地が表示されるまでは移動しないでください。**

現在地が表示されると、正常に使用することができます。

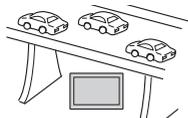
## 現在地の測位ができない環境について

次のような環境では、GPS衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

- トンネルの中
- 建物の中
- 樹木の間
- 自動車以外の乗り物の中



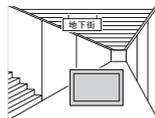
- 高速道路の下



- 高層ビルなどの間



- 地下街



- 曇り／雨などの悪天候



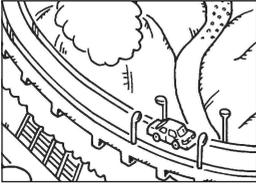
※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

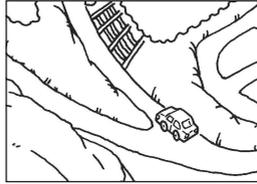
## 現在地(自転車)マークのずれについて

現在地(自転車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星からの電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



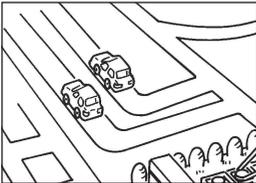
- 緩やかなY字路の走行



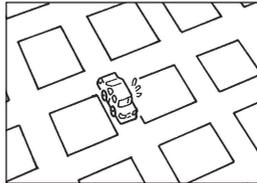
- S字の連続する道路の走行



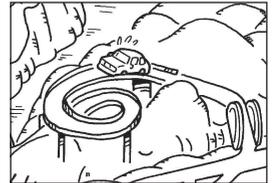
- 近くに似た形状の道路がある所の走行



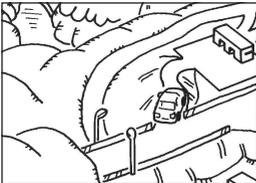
- 碁盤目状の道路の走行



- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、形状が変わった道路などの走行



### お知らせ

- エンジンを開始してすぐ走行した場合も、現在地(自転車)マークの向きがずれることがあります。
- 現在地(自転車)マークの位置/方向を手動で修正することもできます。

 「[現在地\(自転車\)マークの位置を修正する](#)」I-13

## クイックGPSについて

本機が過去に受信したGPS衛星データを用いて現在のGPS衛星位置を予測することにより、GPSを捕捉しやすくし、起動時の捕捉までの時間も早めます。

前回のGPS衛星電波受信後から6日以上経過している場合には機能しません。また、前回GPS衛星電波を受信した状況と起動時の状況の違いによっては、機能しない場合があります。

 「GPS情報について」F-12

## 自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて

GPS衛星の電波を受信しにくい高架下やトンネルなどでも、本機に搭載のジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法で現在地を補正します。現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路上に現在地を表示させます。

- 自律航法は、GPS衛星の電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をしてから動作を始めます。
- 自律航法動作時でも、GPS衛星の電波を受信できない状態が長く続くと、自転車位置に誤差が生じる場合があります。

# カメラユニットを取り付ける

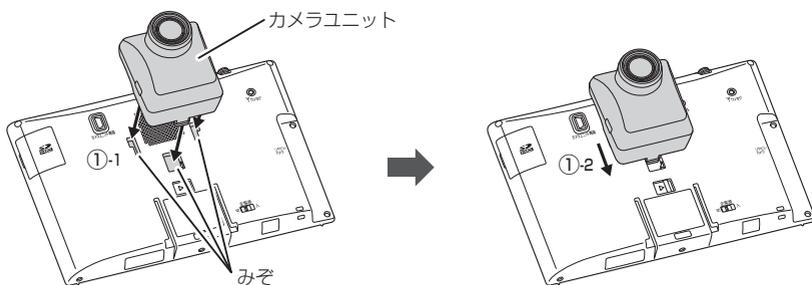
付属のカメラユニットをナビゲーション本体に取り付けます。

- お願い** カメラユニットを取り付け/取り外しする場合は、ナビゲーション本体の主電源スイッチを必ず「切」にしてください。  
※撮影するにはmicroSDHCメモリーカードが必要です。付属のmicroSDHCメモリーカードをカメラユニットに挿入し、本機でフォーマットを行ってからご使用ください。(L-2)

## カメラユニットの取り付けかた

### 1 カメラユニットをナビゲーション本体に取り付ける。

- ① カメラユニットのツメをナビゲーション本体のみぞに入れ、“カチッ”と音がするまで下向きにスライドさせる。

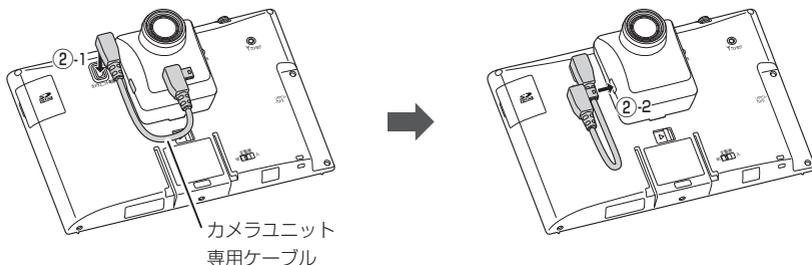


- ② 付属のカメラユニット専用ケーブルをナビゲーション本体側のカメラユニット専用端子に接続し、カメラユニット側のカメラユニット専用端子に接続する。

※カメラユニット専用端子の形状や向きに注意して、下記イラストのように取り付けてください。

※カメラユニット専用ケーブルのコネクタは両端同じ形状ですのでどちら側でも接続することができます。

※付属のカメラユニット専用ケーブル以外は絶対に接続しないでください。

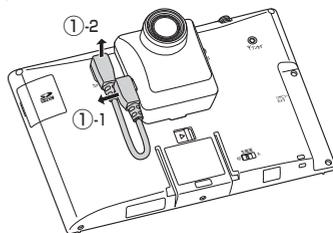


## カメラユニットの取り外しかた

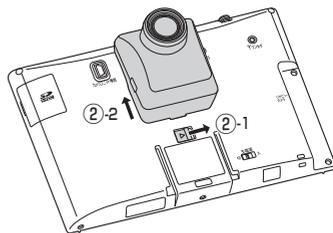
### 1 カメラユニットをナビゲーション本体から取り外す。

#### ① 付属のカメラユニット専用ケーブルを取り外す。

※カメラユニット側から先に取り外してください。



#### ② カメラユニットロックレバーを右側にスライドさせながらカメラユニットを上向きにスライドさせる。



#### ③ カメラユニットをナビゲーション本体から取り外す。

## microSDHC メモリーカードをカメラユニットに挿入する／取り出す

※カメラユニットをナビゲーション本体に取り付けているときは、必ずナビゲーション本体の電源を切った状態で、microSDHCメモリーカードの抜き差しを行ってください。

### ■ 挿入する場合

#### ① カメラユニットのmicroSDHCメモリーカード挿入口カバーを開け、microSDHCメモリーカード挿入口にmicroSDHCメモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※ microSDHCメモリーカードを挿入した後は、microSDHCメモリーカード挿入口カバーをしっかりと閉めてください。

microSDHCメモリーカード挿入口カバー

microSDHCメモリーカード挿入口



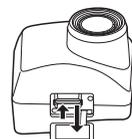
microSDHCメモリーカード

印字面

### ■ 取り出す場合

#### ① microSDHCメモリーカード挿入口カバーを開け、microSDHCメモリーカードを1回押してから取り出す。

※ microSDHCメモリーカードを取り出した後は、microSDHCメモリーカード挿入口カバーをしっかりと閉めてください。



# 車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、本機または車をお買い上げの販売店や最寄りのカー用品専門店にお問い合わせください。(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

## ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準\*に適合させるため、下部イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

\*印…道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)  
道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

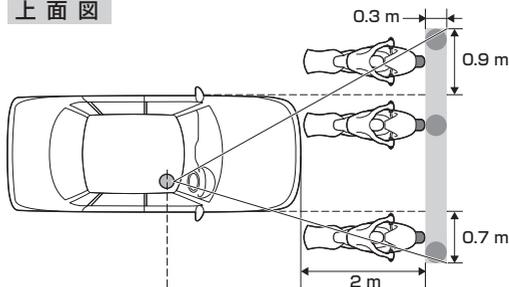
## 前方視界について

### ■基準概要

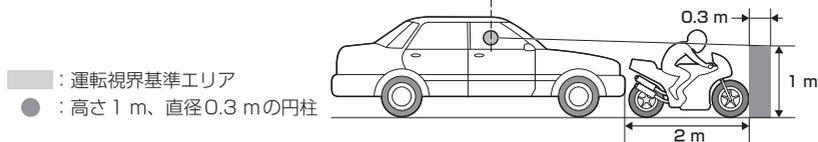
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。  
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



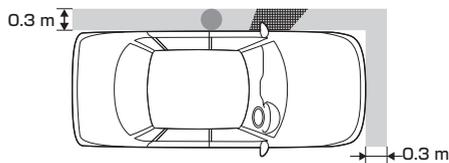
- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱

## 直前直左視界について

### ■基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。  
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱
- : 適用外エリア  
(Aピラーまたは室外後写鏡により)  
視界が遮られるエリア

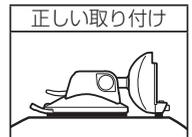
## 取り付け上のお願い

- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPSやワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナーできれいに拭き、ホコリや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。  
※車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。  
※有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

## 取り付ける前に

- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。  
(取り付け位置の安全性を考慮し、販売店またはカー用品専門店にご相談の上、取り付け位置を決めてください。)
- 吸盤スタンドおよび取付用シートの貼り付け位置はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面

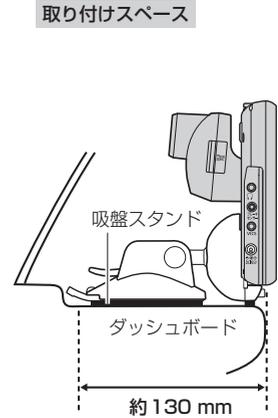
## 取り付け角度・寸法について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度および取り付けスペースを参考にしてください。



※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

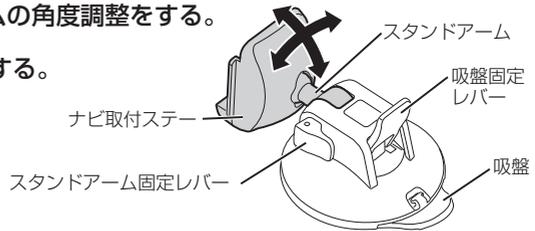
※自律航法の誤差を少なくするため前後左右の角度は20°以内で調整してください。



## 吸盤スタンドの取り付けかた

### 1 ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする。

#### ① ナビ取付ステーの角度を調整する。



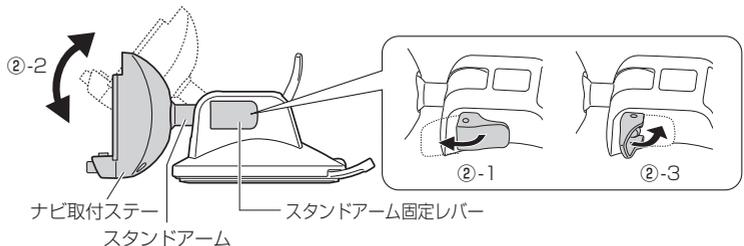
#### お願い

ナビ取付ステーはスタンドアームに対して自由な方向に動かせます。動きが固すぎる／固定具合が弱すぎる場合は、右記のように正面のねじをドライバーなどの工具で調整してください。

※ナビゲーション本体を取り付けて使用中、ゆるまな程度に動きが固めの状態にしてください。

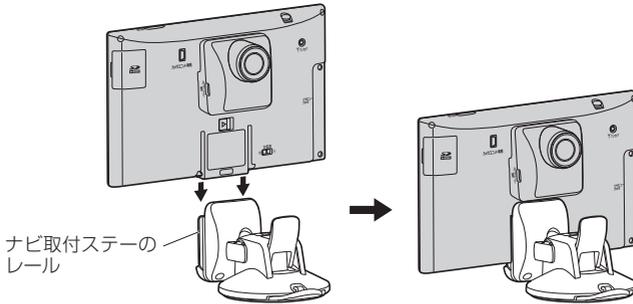


#### ② スタンドアーム固定レバーを起こして、スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置を調整し、スタンドアーム固定レバーを倒して固定する。



## 2 ナビ取付ステーにナビゲーション本体を取り付ける。

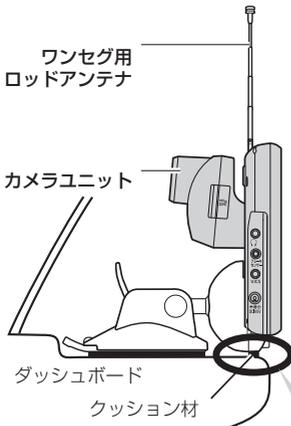
※ナビゲーション本体裏面のみぞをナビ取付ステーのレールに合わせて、“カチッ”と音がするまで入れてください。



## 3 ダッシュボード上の見やすいところに取り付ける位置を決める。

※シガーライターコードを接続し、ナビゲーションを起動してカメラ映像を表示しながら、取り付ける位置を決めてください。▶「カメラユニットの設置確認をする」L-2

※取り付け位置が決まったら、ナビ取付ステーからいったんナビゲーション本体を取り外してください。取り外しかたについては、▶「吸盤スタンドの取り外しかた」A-26をご覧ください。



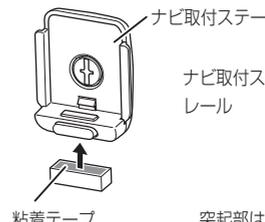
### お願い

- カメラユニットがフロントガラスに当たらないようにしてください。  
※吸盤スタンドの取り付け位置で、ナビゲーション本体の着脱を行ってもカメラユニットがフロントガラスに当たらないことも確認してください。
- ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのぼしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

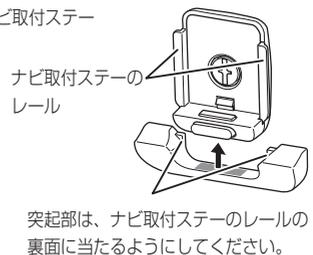
振動によるぐらつきやダッシュボードへの傷、カメラ映像のブレなどを防ぐため、ナビ取付ステーの底面に付属のクッション材(小/大のいずれか)を必ず貼り付けて、クッション材がダッシュボードに当たるように調整してください。  
※振動でぐらついたり、カメラ映像がブレる場合は、クッション材(大)をご使用ください。  
※ダッシュボードに強く当てすぎると吸盤が外れる場合があります。

粘着テープを剥がし、ナビ取付ステーの底面に貼り付けてください。

### クッション材(小)



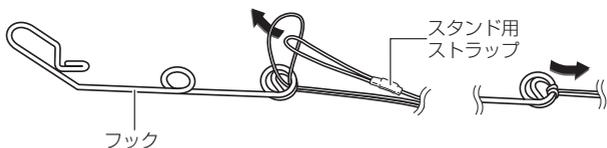
### クッション材(大)



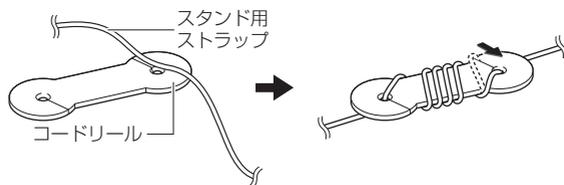
## 4

## フックおよびスタンド用ストラップを取り付ける。

- ① フックにスタンド用ストラップを取り付ける。



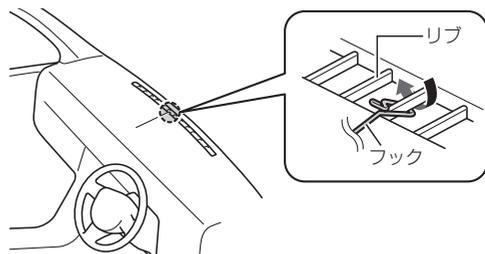
- ② スタンド用ストラップをコードリールに適度な長さまで巻き付ける。



- ③ フックを車のデフロスタ\*のリブ部へ取り付ける。

※デフロスタへの取り付けは、スタンド用ストラップを取り付けていない方のフックを取り付けてください。

\*印…車のフロントガラスの送風口のことで。

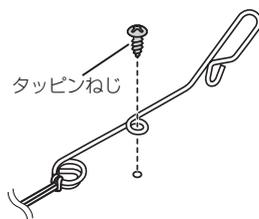


デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

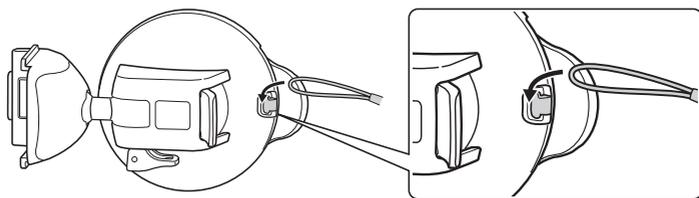
※ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。

お願い

タッピンねじを取り付ける時に、ダッシュボードが割れる可能性やダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店またはカー用品専門店へご相談ください。



- ④ 吸盤スタンドにスタンド用ストラップのもう一方を取り付ける。



## 5 取付用シートを貼り付ける。

※ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

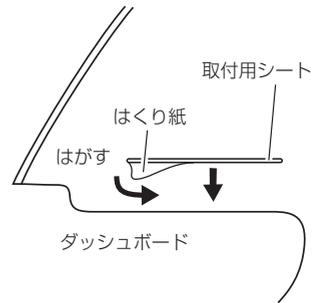
### 取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- 空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、取付用シートのみ状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナーできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

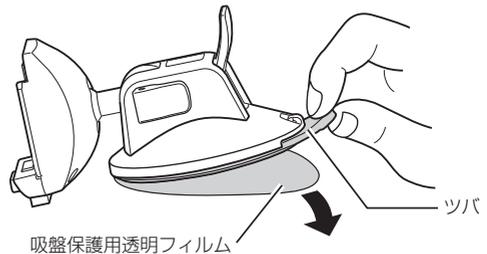
※取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。  
粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。



## 6 ダッシュボードに吸盤スタンドを取り付ける。

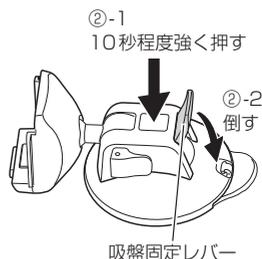
① 吸盤面に付いている吸盤保護用透明フィルムをはがす。

※すでに吸盤保護用透明フィルムをはがし、吸盤面に吸盤スタンド保護用シートを貼り付けている場合は、吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



## ② 吸盤をダッシュボードに10秒程度強く押しながら、吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

※しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



### お願い

- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付シートを使用する場合は、吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。  
※水以外では拭かないでください。
- 吸盤スタンドを清掃するなどしても吸着力が弱いと感じる場合は、取り付ける位置を変更するか、取付シートを貼り付けてから吸盤スタンドを取り付けてください。  
[図] A-25 手順 5
- 光沢面に吸盤スタンドを貼り付けると、吸着力が増してはがしにくくなる場合があります。光沢面に貼り付ける場合は、取付シートをご使用ください。  
[図] A-25 手順 5

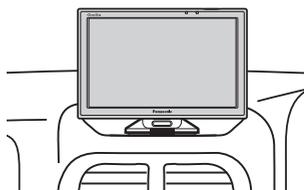
## 7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※ [図] A-23 手順 2 を参考に、ナビゲーション本体をナビ取付ステーに取り付けてください。

※吸盤スタンドのスタンドアーム固定レバーはしっかり倒しててください。固定が弱いと、車の振動などでレバーがゆるみ、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれがあります。

### お願い

吸盤スタンド各部のゆるみ、吸盤が外れそうになっていないかなど、定期的な点検してください。



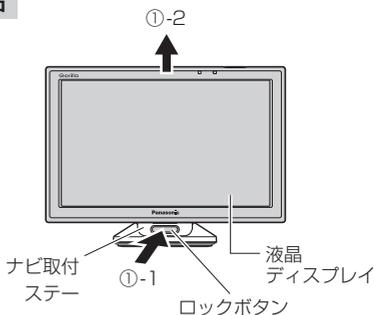
## 吸盤スタンドの取り外しかた

### ■ ナビゲーション本体をナビ取付ステーから外す場合

- ① ナビ取付ステーのロックボタンを押しながらナビゲーション本体を上向きにスライドさせる。

### お願い

液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体を取り付けたり、取り外したりしないでください。

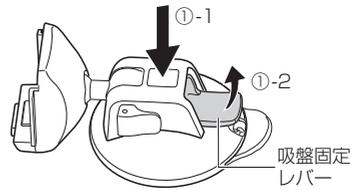


## ■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けられているスタンド用ストラップを外してください。

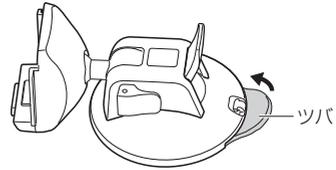
- ① 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

**お願い** 吸盤固定レバーを持ち上げる際、指をはさまないようにご注意ください。



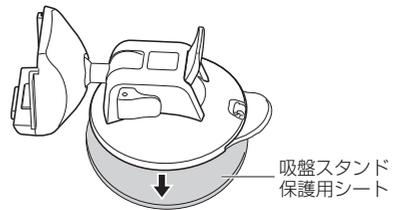
- ② 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※吸盤スタンドを取り外す際、使用環境により吸着力が大きくなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- ③ 吸盤スタンドを取り外した後、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※取り外した後は吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。



## コードクリップの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のコードクリップを使用して束ねてください。

### ■ 取り付ける場合

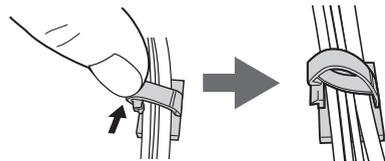
- ① コードをコードクリップに入れ、“カチッ”と音がするまで押してロックする。

※ロック後、コードクリップ裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。



### ■ 取り外す場合

- ① 下記イラストのようにスライドさせて、ロックを解除する。



# 車にVICSアンテナを取り付ける

付属のVICSアンテナを車に取り付けます。

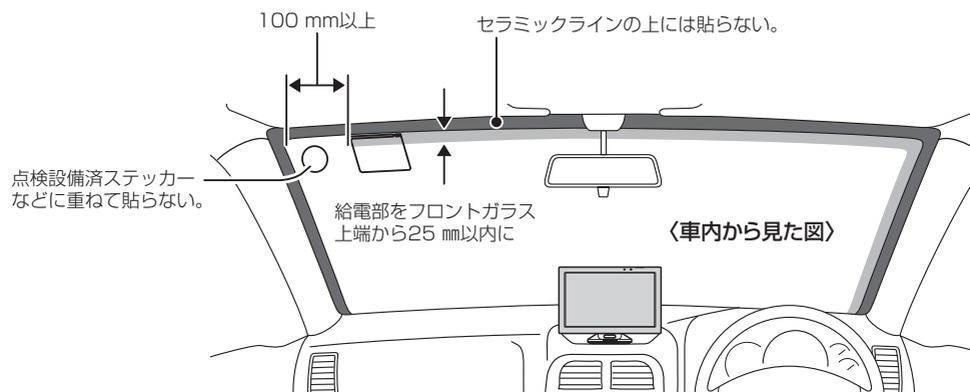
※作業が困難な場合は、本機または車をお買い上げの販売店や最寄りのカー用品専門店にお問い合わせください。(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

## VICSアンテナの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準\*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

\*印…道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。



## 取り付け上のお願

- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。
  - ※界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
  - ※設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。
  - ※気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
  - ※熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店またはカー用品専門店へご相談ください。

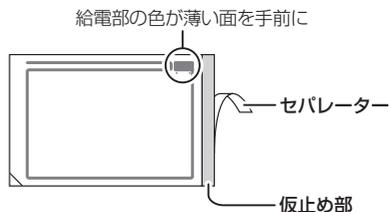
## 取り付けの前に

- 必ず車内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めして、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから100 mm以上離して貼り付けてください。

## 1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける。

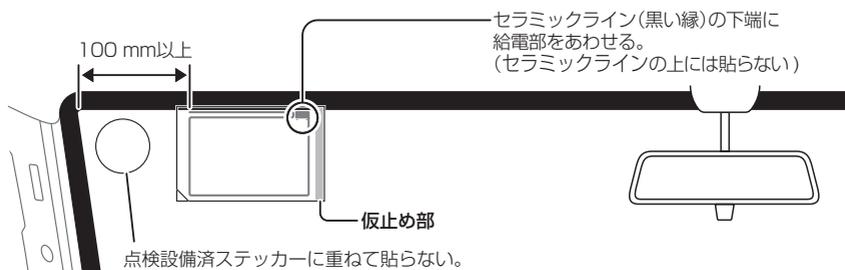
### ① 仮止め部のセパレーターをはがす。

※糊面に触れないでください。



### ② 貼り付ける位置を決めて、仮止め部をガラスに貼る。

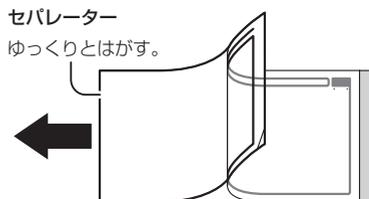
※貼り付ける位置からコードを引き回して、アース端子が正しく取り付けられるか、ナビゲーション本体へアンテナコードが届くかを確認してください。



### ③ セパレーターをはがし、フィルムをガラスに貼り付ける。

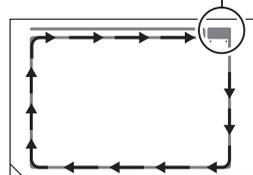
※糊面に触れないでください。

※強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線する場合があります。



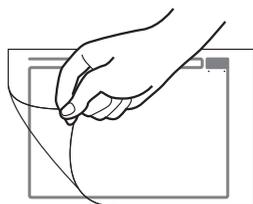
### ④ アンテナの上を指でこすり、ガラスに密着させる。

給電部  
特に念入りに押さえる。



### ⑤ フィルムの左下の角を持ち、ゆっくりとはがす。

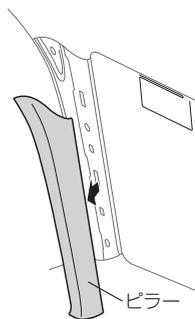
※アンテナがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してアンテナ上をこすり、再度はがしてください。



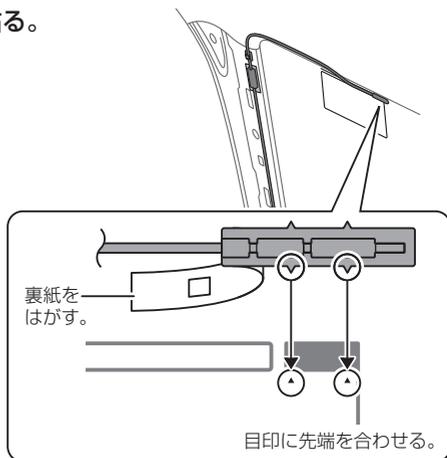
## 2 アンテナコードを取り付ける。

### ① ピラーのカバーを取り外す。

- ※ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- ※ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。  
詳しくは、車をお買い上げの販売店へご相談ください。
- ※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店またはカー用品専門店へ  
ご依頼ください。

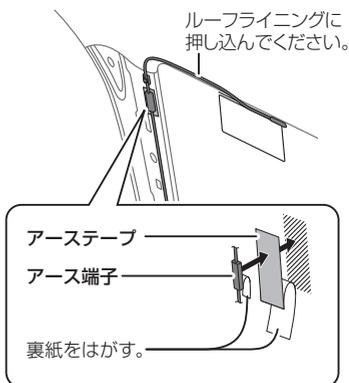


### ② コードの端子をアンテナの給電部に貼る。



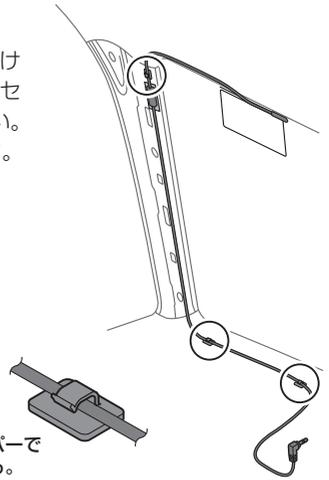
### ③ アース端子を金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

- ※必ずアース端子を正しく貼り付けてください。  
VICsの受信感度が低下する場合があります。
- ※必ず、アーステープを貼ってください。
- ※金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。



## ④ コードを引き回す。

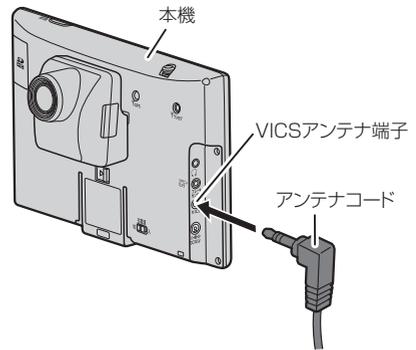
※シガーライターコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりワンセグ用ロッドアンテナに巻きつけたりしないでください。VICSやワンセグの受信感度が低下する場合があります。



コードクランパーで  
要所を固定する。

### 3 アンテナコードを本機のVICSアンテナ端子へ接続する。

※取り付けが終わったら、ピラーのカバーをもとに戻してください。



# 動作の種類と制限について

## 動作の種類について

本機では電源の種類や、付属の吸盤スタンドの取り付け状態によって、車動作・家庭動作・電池動作と動作状態が換わります。

電源の種類 付属の吸盤スタンド	シガーライターコード	ACアダプター (別売)	内蔵電池
装着時	車動作	車動作	電池動作
未装着時	家庭動作	家庭動作	電池動作

## 動作の種類による制限

動作の種類(“車動作”“家庭動作”“電池動作”)によって、下記表のように機能が制限されます。

動作の種類		車動作	家庭動作	電池動作*1
ナビモード	ecoドライブ情報の表示	○	×	×
	VICS表示	○	×	×
	画面消し	×	×	○
	ガイドブック地点(写真リスト表示)	○*2	○	○*2
	ここいこ♪	○	○	○
	地図更新/ アプリケーションバージョンアップ	○	○	×
	セキュリティコードの設定	○	×	×
リヤビューカメラ/ビデオ映像	○	×	×	
AVモード	テレビ(ワンセグ)視聴	○*3	○	○*3
	音楽再生	○	○	○
	動画再生	○*3	○	○*3
	スライドショー	○*4	○	○*4
	Myストッカーの操作	○*2	○	○*2
	カメラユニットの設定	○	○	×
カメラユニットでの撮影/再生	○	○	×	

○印…制限しない  
×印…制限する

- \*1 印…電池残量が少なくなると操作できない場合があります。
- \*2 印…吸盤スタンドを装着した状態で走行すると操作できません。
- \*3 印…吸盤スタンドを装着した状態で走行すると音声のみとなります。
- \*4 印…吸盤スタンドを装着した状態で走行すると停止します。
- \*5 印…ランチャーボタンに表示される **カメラモニター** も操作することができません。[B-3]

# 走行中の操作制限について

安全上の配慮から走行中に一部の操作や、テレビ(ワンセグ)・動画再生の視聴、Gアプリの操作などを行うことができません。本機では、GPS衛星からの電波などで車の速度を感知する「車速感応タイプ走行規制」で走行/停車判定を行います。

別売品と同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキ接続ケーブルの走行/停車判定を優先します。

☞「別売品のご案内」O-14

## お知らせ

- 車速感応タイプ走行規制の場合、GPS未受信時や発進/停止を繰り返したときは、走行/停車の判定が正しく行えない場合があります。
- 別売品と同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを接続している場合は、車のパーキングブレーキをかけないと“停車中”と認識しません。

## 走行中に制限される機能

ナビモード	メニュー操作	△ (一部のメニューのみ操作できます。)
	地図スクロール	△ (短押しスクロールのみできます。)
	細街路表示(3 m以下)	△ (細街路を走行中のみ表示します。)
	ガイドブック地点(写真リスト表示)	×
AVモード	メニュー操作	△ (一部のメニューのみ操作できます。)
	テレビ(ワンセグ)視聴	△ (映像は表示されず、音声のみとなります。)
	動画再生(SDメモリーカード/Myストッカー)	△ (映像は表示されず、音声のみとなります。)
	スライドショー	×
	Gアプリの操作	×
	Myストッカーの操作	×
	カメラユニットの操作	△ (手動撮影のみ操作できます。)
ヘッドホン接続時の音声出力		×

△印…一部制限する  
×印…制限する

# 電源について

## 主電源スイッチについて

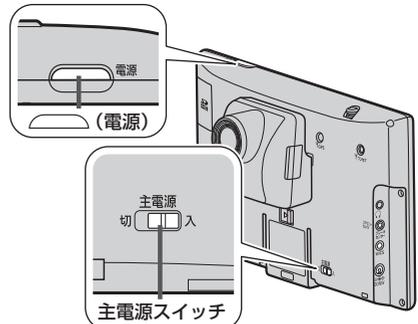
本機には主電源スイッチと電源ボタン  (電源) があります。

お買い上げ時は、主電源スイッチが「切」になっていますので、まず、主電源スイッチを「入」にして本機の電源を入れてください。

※日常のご使用では主電源スイッチは「入」のまま、 (電源) で電源の切/入を操作してください。

※長時間使用しないときは、主電源スイッチを「切」にしてください。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。充電する場合は「入」にしてください。



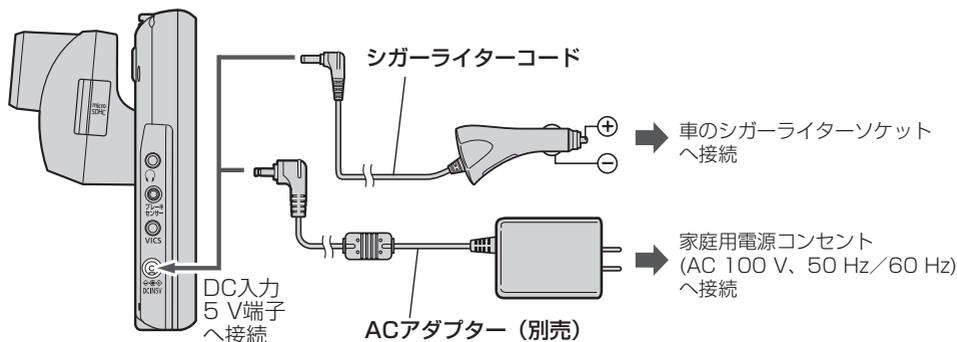
## シガーライターコード / ACアダプターで使用する

### 1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を本機に接続する。

※電源プラグは、奥までしっかり差し込んでください。

※車で使用する場合は、付属の吸盤スタンドに取り付けて車動作で使用してください。

【🔊「車に吸盤スタンドを取り付ける」A-20 / 「動作の種類について」A-32



### 2 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

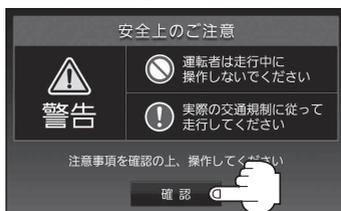
※起動画面が表示されたあと、警告画面が表示されますので、警告画面の内容を確認して **確認** をタッチしてください。約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコード入力画面が表示されます。セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。

【🔊「セキュリティコードについて」M-5



警告画面



※メッセージが表示された場合は、メッセージを確認し **OK** をタッチしてください。

※家庭動作で起動し、ナビモードが表示された場合、画面に表示されるメッセージを確認し、**閉じる** をタッチしてください。【🔊「動作の種類について」A-32

※本機の電源を切ってからすぐに (電源) を約2秒押ししても電源は入りません。少し待ってから電源を入れてください。

## 内蔵電池で使用する

### 1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続していない状態で (電源) を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※ナビモード画面が表示された場合、画面に表示されるメッセージを確認し、**閉じる** をタッチしてください。



はじめに

#### お知らせ

- 内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らない場合があります。充電してご使用ください。
- 内蔵電池保護のため、本機の内部温度が高温になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。正常温度に戻ってから再度電源を入れなおしてください。

#### 内蔵電池の充電について

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続して充電してください。

☞ 「シガーライターコード/ACアダプターで使用する」 A-34

※充電するときは (電源) を約2秒押して電源を切ってください。満充電できない場合があります。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。☞ 「主電源スイッチについて」 A-33

#### お願い

- エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない車の場合は、エンジンを切ったあとに、必ずシガーライターソケットからシガーライターコードを外してください。長時間放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- ACアダプター(別売)を使用する場合、充電が終了したらコンセントから外してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

#### 充電ランプ/電池マーク

※充電ランプの位置については、☞ 「各部のなまえとはたらき」 B-2を参考にしてください。

充電状態	充電ランプ
満充電	消灯
充電中	点灯(橙色)

※電池動作時に (電源) を短押し(約1秒以内)し、画面消しにしたときは充電ランプが緑色に点灯します。

#### 電池マーク

内蔵電池使用時に電池残量が表示されます。

残量：多	(緑色)
残量：中	(緑色)
残量：少	(赤色)
残量：なし	(灰色)

※低温下では、表示される電池残量が一時的に少なくなることがありますが、これは電池の特性によるものですので故障ではありません。



## 充電時間と連続使用可能時間

下記の時間はあくまでも目安です。数値を保証するものではありません。

※使用環境、使用する機能や設定により使用可能時間が短くなる場合があります。

充電時間*1	連続使用可能時間*2
約2時間20分	約1時間30分

\*1印…本機の電源を切った状態で、空の内蔵電池を充電した場合  
(周囲温度 +25℃)

\*2印…本機を連続して使用した場合(満充電、周囲温度 +25℃)  
※テレビ(ワンセグ)受信時で音量/画面の明るさを中間  
(明るさ自動調整しない)にした場合

### お知らせ

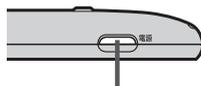
- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 使用環境により電池残量が正しく表示しない場合があります。  
※低温下での電池の電圧低下があるため、電池残量に関わらず電源が切れる場合があります。
- 周囲の温度が高温のときは、自動的に放電され、使用時間が短くなる場合や電源が入らない場合があります。
- 累積の使用時間により内蔵電池は少しずつ劣化します。そのため使用可能時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

## 本機の電源を切る

1

 (電源)を約2秒押す。

: “ピッ” という音が鳴り、本機の電源が切れます。



 (電源)

### お知らせ

車動作時に車のエンジンを切るなどしてシガーライターコードまたはACアダプター(別売)からの通電がなくなると、自動的に本機の電源が切れ、再び通電が始まると本機の電源が入ります。

※家庭動作時の場合は、本機の電源が切れずに電池動作に切り換わります。

 「動作の種類について」A-32

# SDメモリーカード／microSDHCメモリーカードについて

SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

- SDメモリーカードでデータを読み書きをしたり、microSDHCメモリーカードを挿入したカメラユニットで撮影、再生などを行っているときに、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- 定期的にホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- 市販のSDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ破損による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
  - ・ SDメモリーカード挿入口やカメラユニットのmicroSDHCメモリーカード挿入口に異物を入れないでください。
  - ・ 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所に、SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードを放置しないでください。
  - ・ 本機から取り出したら必ず収納ケースに入れ、直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。
  - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
  - ・ SDメモリーカードに貼られているラベルをはがしたり、シールなどを重ねて貼らないでください。
  - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

## 使用できるSDメモリーカード／microSDHCメモリーカード

本機はSD規格に準拠した下記メモリーカードに対応しています。

下記以外のメモリーカードは使用できません。

※本書では特にことわりのない限り、ナビゲーション本体で使用できる下記メモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。

	ナビゲーション本体で使用できるカード	カメラユニットで使用できるカード
ナビゲーション本体で使用できるカード	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市販のSDHCメモリーカード(32 GB以下)</li><li>● 市販のSDメモリーカード(2 GB以下)</li></ul> <p>※ miniSD／microSD／microSDHCメモリーカードも使用できます。使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着し、取り出すときは必ずアダプターごと取り出してください。</p> <p>※無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 付属のmicroSDHCメモリーカード</li><li>● 市販のmicroSDHCメモリーカード(4 GB以上、Class6またはClass10)</li></ul> <p>※上記以外のmicroSDHCメモリーカードを使用すると、正常に撮影ができなかったり、本機で認識できない場合があります。</p>
フォーマットの方法	パソコンなどでFAT16またはFAT32でフォーマットを行います。	本機でフォーマットを行います。 [P. 2]

**お願い** カメラユニットで使用しているmicroSDHCメモリーカードは、ナビゲーション本体に挿入しないでください。

**お知らせ** フォーマット方法はそれぞれ異なります。上記以外の方法でフォーマットすると正しく使用できなかったり、本機で認識できない場合があります。

## SDメモリーカードを挿入する／取り出す

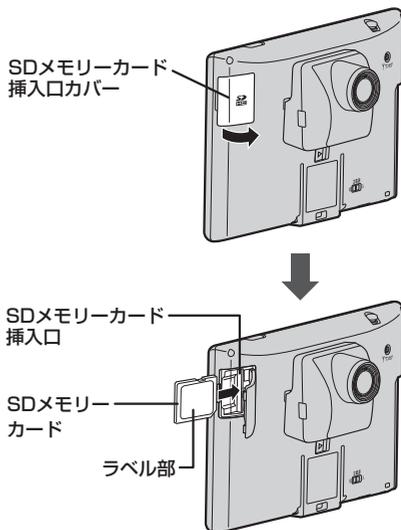
※SDメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

### 挿入する

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※SDメモリーカードを挿入した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



### 取り出す

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカードを1回押してから取り出す。

※SDメモリーカードを取り出した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。

